

ふみびと

第55号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

人生に加える 様々な水

ありがとうの水

「ありがとう」

その短い一言がどんなに人を幸せな気持ちにすることが。その短い一言がどんなに自分を優しい気持ちにすることが。誰もが知っていること。だけれど誰もが忘れかけてしまつこと。

そんな大事なことを思い出すのは皮肉にも何気ない日常の中ではない気がします。

先日、4年間お世話になつた先輩と仕事の都合

で離れることになりました。日頃から本当にお世話になつていたので、数え切れないほど「ありがとう」が言いたいです。と言つてきました。最後に会つた日は4年分の思いが込められた、今までで一番の「ありがとう」が言えたような気がします。

「ありがとう」の気持ちに本当は軽いも重いものはないはずなんです。その時は本当にこの言葉の重さ、強さを感じました。



特別なときに言う「ありがとう」はもちろん自分にも人の心にも強く残りますが、普段ちよつとした時に使う「ありがとう」の積み重ねも人の心を幸せにし、豊かにしてくれるものだと思います。

「ありがとう」という言葉は「有り難く」(滅多にないことの意味)から変化した言葉だと言われていますが、人に親切にしてもらうことを滅多にしない瞬間が何ら浮き沈みのない水面だとしても、そして、仮にそれに満足していないとしても一粒の「きっかけ」さえあれば、大きく何かが変わることがある。

ある一つの「きっかけ」が人の生き方に与える影響力というのは、自分自身が想像できないほどの不思議さを持つている。きっかけによって、人は大きく変わることもができる。

一滴の水

それはあたかも、水面へ落ちる一滴の水のようである。一粒の滴が水面を波立たせ、それがまた波

波が四方八方へと広がっていく。またそこで一粒の滴を落とせば、波と波がぶつかり合いまた新しい波が四方八方へと広がっていく。「きっかけ」というのは、そういう種類のものなのだろう。

今という瞬間が何ら浮き沈みのない水面だとしても、そして、仮にそれに満足していないとしても一粒の「きっかけ」さえあれば、大きく何かが変わることがある。一滴の水を誰かが垂らすのを待つか、それとも自分で垂らすのか。大切なことは、その水面が自分の人生ということである。

みんなの声をつくる 投稿テーマ 募集中

投稿のお題、募集中!

村民のみんなに聞いてみたいことを募集しています。こんなことを正直聞いてみたい...このお題にみんなが答えたら...みんなはどう答えるのかな...など、お互いを知ることがあります。お題がいろいろあっても、お気軽に事務局までお便り下さい。どしどしお送りくださいね!!

編集後記

前号でお届けした「おススメの本」はいかがでしたか?事務局宛ての手紙には「面白かった。良かった」という言葉が多く届き、私たちも嬉しいです。本当に色々な本が紹介されており驚きました。自分だけでは決してお出せないであろう本を知ることができたことが素直に嬉しいのです。そして、早速本屋さんへ足を運んでしまいました。これを機に、村民同士で手紙のやりとりが始まったら、さらに素敵ですね

またこれからも定期的に村人参加型のイベントを実施していきます!

